

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ	
-----------	--

② 施設・事業所情報

名称：ナーサリーつるみ	種別：認可保育所	
代表者氏名：曾理田 由美子	定員（利用人数）： 120名（利用者83名）	
所在地：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央2-10-6		
TEL：045-716-8490	ホームページ： http://yokuyuukai-nurserysurumi.com/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2013年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 翼友会		
職員数	常勤職員： 13名 非常勤職員 7名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士：20名	事務員：1名
	看護師：2名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室：6	園庭：有
	トイレ：3	
	調理室：1	
	事務室：1	
休憩室：1		

③ 理念・基本方針

<p>【理念】</p> <p>一人ひとりの子どもの最善の利益を考慮し、家庭や地域社会との連携のもとに健全な子どもを育てる</p> <p>【基本方針】</p> <p>○子どもの目線に立ったよりよい保育</p> <p>○ほめて伸ばす保育</p> <p>○一人ひとりを大切にする保育</p> <p>○可能性を引き出す保育</p> <p>○保護者の不安や相談に一つ一つ丁寧に対応</p> <p>○安全で安心して預けられる環境づくり</p> <p>○保育士として在るべき姿追求</p> <p>【保育目標】</p> <p>○明るく素直で元気な子ども</p> <p>○笑顔で挨拶のできる子ども</p> <p>○友だちや仲間を大切に思いやる子ども</p> <p>保護者も子どもも家庭も職場も“入ってよかった” “選んでよかった” 働いてよかった” と思える法人で在り続けられるようにという法人理念のもと、法人に関わる全ての人を大切に考えます。</p>

④施設・事業所の特徴的な取組

・最寄り駅から徒歩8分と賑やかな街並みを抜けた先にある保育園です。広々とした園庭があるので、いつでも遊べる環境や近隣にも大小たくさんの降園や鶴見川もあり、散歩に行くと降園遊びや季節を感じられる散策も楽しんでいます。

・サッカー教室、英語教室の導入（3歳児～5歳児）

近隣のグラウンドを借りて月2回程度サッカー教室を実施しています。サッカーを通じて、ボールに慣れるだけでなく「心・技・体」を身につけ、自分で自分の体をコントロールしていく経験を積むことを目的としています。英語教室も月2回程度取り入れています。英語が堪能な保育園職員が講師となることで、英語を身近に感じ日常生活の中に英語が浸透していく基盤を作っていきます。

・職員の委員会活動によるボトムアップ

子どもたちの保育にかかわることは、委員会が中心となり、職員全体で物事を解決していく活

動です。保育の質の向上を図るため職員一人ひとりが、委員会活動を通じて、自分で考える力を養い、職務への責任と自覚を持つことや、委員同士の共通理解と協働性を高められるような取り組みを目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年2月13日（契約日）～ 令和5年9月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)日常生活の中で「心・技・体」を育てています

幼児クラス（3歳児から5歳児）では、月2回程度サッカー教室と英語教室を行っています。近隣のグラウンドを借りてサッカーボールに触れる機会を通じ、集団でのルールや仲間を思いやる気持ちを育てています。また、自分の体をコントロールする積み重ねを通して「心・技・体」を学んでいます。さらに、英語の堪能な職員が講師となり、英語を生活の中に取り入れていくことで耳から英語が入り、自然に身につくような基盤作りを行っています。

2)委員会活動により職員間の理解や協働性を高めています

職員は、教育・幼児教育・地域密着・子ども企画・食育の「委員会活動」に取り組んでいます。委員が中心となって、職員は子どものための行事企画から開催までを話し合うことで、保育の質の向上につなげています。職員一人ひとりが委員会活動を通じて自分で考える力を養い、職務への自覚と責任を持てるよう取組を進めています。また、異なる委員活動を通じて委員同士の共通理解や協働性を高められるよう取り組んでいます。

3)園庭から季節を感じ、健康的に過ごせるようにしています

園庭は木々が茂り花が咲いて、季節を肌で感じることができます。緑豊かな環境で感じ取れる事象、自然の匂いや風で葉が揺れる音などを通して、子どもの五感が育まれています。ジャングルジム、すべり台、鉄棒、ミニサッカーコーナー、スロープ、砂場などがあり、年齢に応じたの遊具で遊んだり、スロープを歩いたり体を動かしたりしています。園庭の草花や虫を観察するなどして、季節の移り変わりを楽しんでいます。季節の草花に触れ、心身共に健康的に過ごせる保育を実践しています。

4)事業計画内容の検討と保護者へのさらなる周知が期待されます

中・長期事業計画並びに単年度事業計画を策定して運営を行っていますが、事業計画に数値目標や具体的な成果目標を設定し、実施状況の評価が行える計画内容にすることが望まれます。また、保護者に周知する事業計画の内容については、行事計画や活動内容に加え、環境整備や地域交流等、子どもや保護者に関係する計画も盛り込み、保護者へのさらなる周知を図ることが期待されます。

5)第三者委員の周知が期待されます

入園のしおりと園の掲示板に保護者相談窓口、苦情解決責任者として第三者委員が明示されています。今回の福祉サービス第三者評価に伴う調査では、「第三者委員などに相談できることを知っていますか」との問いに「いいえ」と答えた方が多く見られました。保護者への周知を更に徹底し、さまざまな声に耳を傾けながらの運営が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園10年になりますが、まだまだ変化できる園であると自負しております。ただ、人手不足という現状に、やりがいのある仕事である反面、職員間連携と共通理解の難しさを感じています。どの職員も、『子どもたちの最善の利益を考慮し、家庭や地域社会との連携のもと心身ともに健全な子どもを育てる』という保育理念を念頭に日々、子どもたちのために必死に、そして笑顔で保育業務にあたっています。今回の評価を受け、的確なアドバイスを頂戴し、当園の強みと弱みを知ることができたことはとても大きな希望と励みになりました。いいところは残しながらさらなる高みを目指し、課題となった弱みは、ナーサリーつるみとして、どのように強みにしていくか、職員全体で共有し、これからじっくりと考えてまいります。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり